

# 2019年3月期 決算説明資料

2019年5月14日  
広島電鉄株式会社

# 2019年3月期 連結経営成績

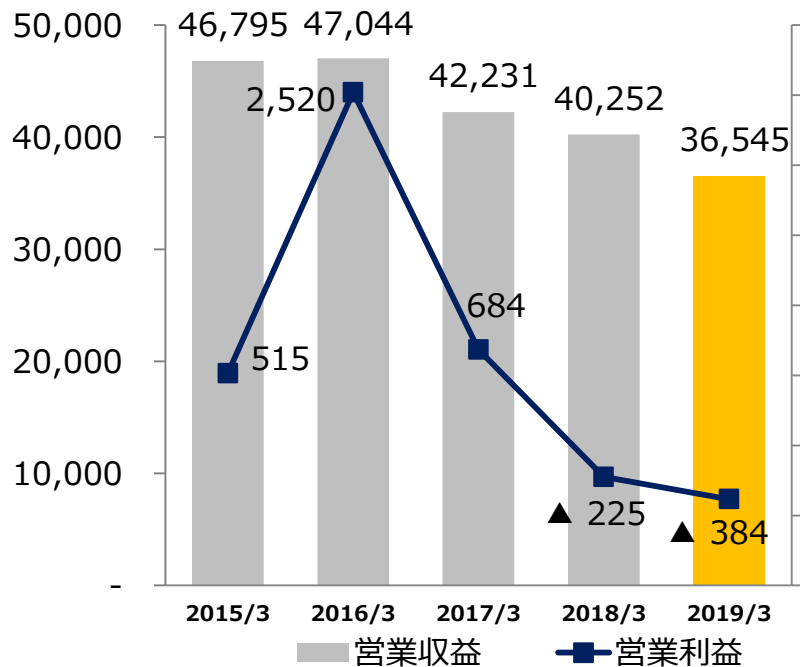
(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	40,252	<b>36,545</b>	△3,706 (△9.2)	平成30年7月豪雨による影響と、2018年10月にスーパー事業を譲渡したため、不動産業以外の全セグメントで減収
営業利益	△225	△ <b>384</b>	△158 (-)	継続的な設備投資による減価償却費の増加、人件費、燃料費の増加が影響
経常利益	△222	△ <b>322</b>	△99 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	855	<b>636</b>	△219 (△25.6)	(株)広電ストアの事業譲渡に伴う事業撤退損失、ホテル建物をグループ内で売買したことによる固定資産売却損等の特別損失が増加
1株当たり当期純利益	28.22円	<b>20.98円</b>	△7.24円	

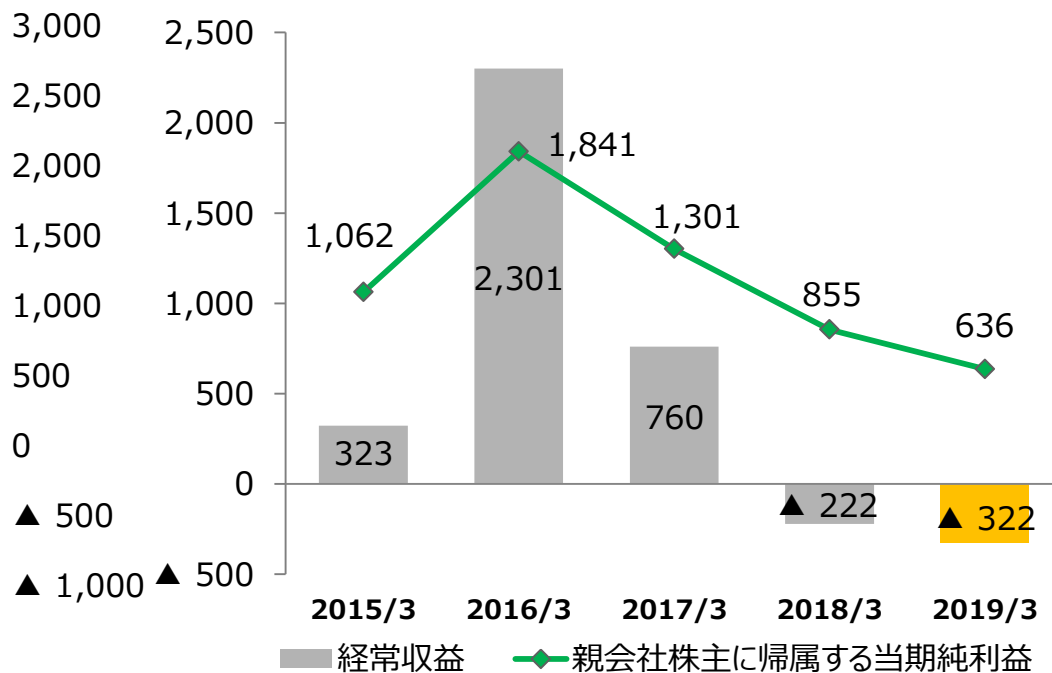
# 連結業績の推移

(百万円)

## 営業収益・営業利益



## 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



# 連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減	主な増減要因
流動資産	12,263	13,076	+813	販売土地建物の増加など
固定資産	76,449	75,681	△768	投資有価証券の時価下落など
資産合計	<b>88,713</b>	<b>88,758</b>	+44	
流動負債	18,971	17,968	△1,002	短期借入金の減少及びスーパー事業撤退による買掛金の減少など
固定負債	27,387	28,610	+1,223	長期借入金の増加など
負債合計	<b>46,358</b>	<b>46,579</b>	+221	
株主資本	16,795	17,191	+396	利益剰余金の増加
その他の包括利益累計額	24,485	23,876	△609	投資有価証券の時価下落による その他有価証券評価差額金の減少
非支配株主持分	1,074	1,110	+36	
純資産合計	<b>42,355</b>	<b>42,178</b>	△176	
負債純資産合計	<b>88,713</b>	<b>88,758</b>	+44	

# 連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,999	2,030	△1,969	税金等調整前当期純利益の減少 分譲マンション造成による支出増
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,886	△1,410	+2,476	前年に「スタートラム広島」新築に係る支出を 行った影響による反動減
財務活動によるキャッシュ・フロー	△781	△467	+314	前年度まで有利子負債が減少傾向にあった ものが、今期は増加に転じたため
現金及び現金同等物の増減額	△668	153	+821	
現金及び現金同等物の期首残高	4,831	4,163	△668	
現金及び現金同等物の期末残高	4,163	4,316	+153	

# セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	22,229	<b>22,203</b>	△25 (△0.1)	平成30年7月豪雨の発生による運休や減便が発生 豪雨災害による宮島来島者数の減少も影響
セグメント利益	△1,469	△ <b>1,599</b>	△129 (-)	継続的な設備投資により減価償却費が増加傾向 要員確保のための人件費増加、原油価格上昇による 燃料費増も影響

# セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	10,005	<b>6,157</b>	△3,848 (△38.5)	2018年10月にスーパー事業を譲渡したことにより大幅な減収 平成30年7月豪雨により宮島来島者、高速道路利用者が減少したことも影響
セグメント利益	△77	△ <b>80</b>	△3 (-)	

# セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,288	<b>4,360</b>	+71 (+1.7)	「スタートラム広島」の賃貸収入増、(株)広電ストアが所有していたテナント店舗施設を引き受けたことにより増収
セグメント利益	1,188	<b>1,180</b>	△7 (△0.1)	既存賃貸物件の施設改修、修繕の増加により減益



# セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,878	<b>3,812</b>	△1,065 (△21.8)	民間工事を中心に大型物件の工事が減少したことにより 減収減益
セグメント利益	155	<b>61</b>	△93 (△60.4)	

# セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

(百万円)

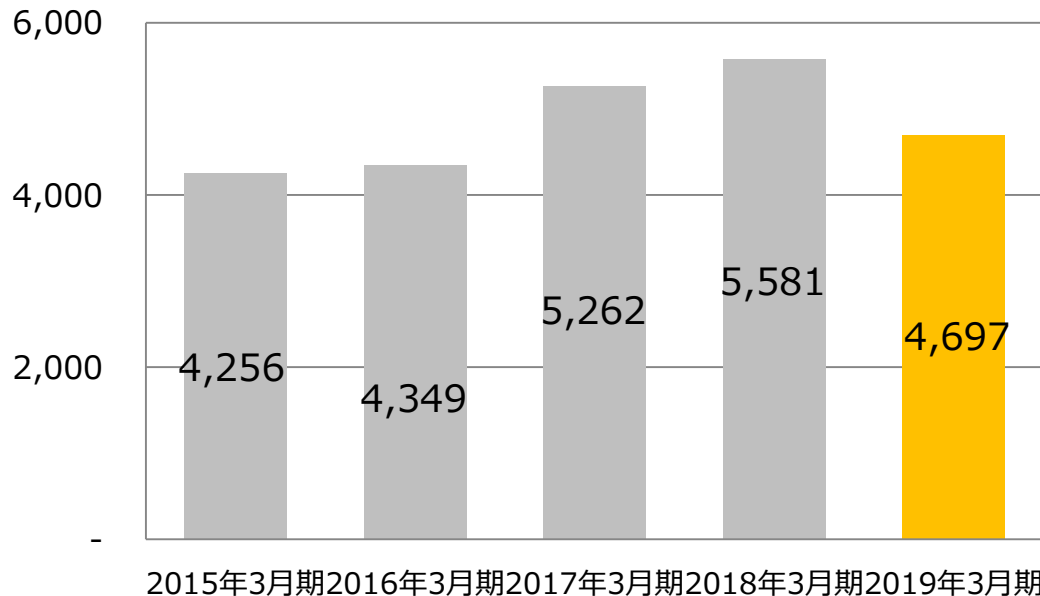
	2018年 3月期	2019年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,907	<b>1,901</b>	△5 (△0.3)	ホテル業でゴルフ場レストランの受託営業を終了した影響と、平成30年7月豪雨によるゴルフ業の予約キャンセル等の影響により減収
セグメント利益	41	<b>46</b>	+4 (11.1%)	ボウリング業・ゴルフ練習業が好調に推移し増益

# 設備投資の状況（連結）

## 設備投資額

(百万円)

## 主な設備投資



5200形グリーンムーバー-APEX 2編成購入  
**760百万円**

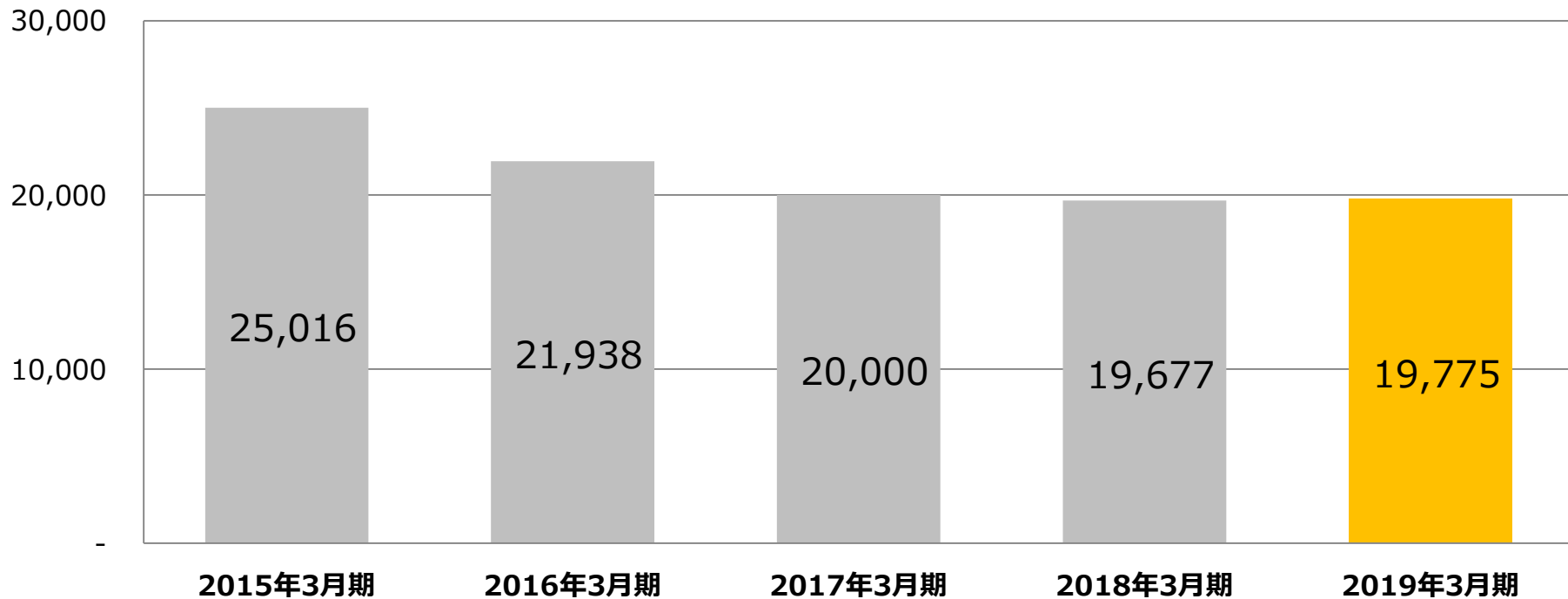
1000形グリーンムーバー-LEX 2両購入  
**600百万円**

自動車事業用車両37両購入  
**1,031百万円**

hitoto広島ナレッジシェアファーム土地建物購入  
**1,107百万円**

# 有利子負債の状況（連結）

(百万円)



2015年12月 キャッシュ・マネジメント・システム（CMS）導入

# 2019年度の主な設備投資予定（連結）

## 電車

	導入数	金額
5200形 グリーンムーバー-APEX	2編成	760百万円
1000形 グリーンムーバー-LEX	2両	601百万円

## 自動車

	導入数	金額
自動車事業用新造車両	27両	724百万円

## 不動産

	金額
宮島口もみじ本陣代替施設 新築工事	1,150百万円



5200形 グリーンムーバー-APEX

# 2020年3月期 通期業績予想

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	36,545	<b>33,040</b>	△3,505 (△9.6)	2018年10月にスーパー事業を譲渡したことにより大幅な減収見込
営業利益	△384	△ <b>480</b>	△95 (-)	人員確保のための人件費や原油価格上昇に伴う燃料費の増加を見込
経常利益	△322	△ <b>500</b>	△177 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	636	<b>560</b>	△76 (△12.0)	ひろでん会館建物の解体撤去による特別損失の発生、バス路線運行補助金の減少を見込

# セグメント別業績予想①運輸業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	22,203	<b>22,050</b>	△152 (△0.7)	平成30年7月豪雨の影響から回復する見込ではあるものの、バス路線の運営効率化や持続可能な公共交通サービスを目的とした路線再編を実施のため減収見込
セグメント利益	△1,599	<b>△1,767</b>	△168 (-)	人員確保のための人件費や原油価格上昇による燃料費の増加を見込

# セグメント別業績予想②流通業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	6,157	<b>2,661</b>	△3,495 (△56.8)	(株)広電ストアの事業譲渡により大幅減収
セグメント利益	△80	<b>21</b>	+102 (-)	不採算事業の整理により増益見込



# セグメント別業績予想③不動産業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	4,360	<b>4,100</b>	△260 (△6.0)	不動産販売業（西風新都グリーンフォートそらの、アンヴェール 庚午中）の分譲減少が影響
セグメント利益	1,180	<b>1,231</b>	+51 (+4.3)	2017～2018年に取得した不動産賃貸物件（スタートラム 広島、hitoto広島ナレッジシェアファーム）の取得時諸費用の 減少

# セグメント別業績予想④建設業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	3,812	<b>4,196</b>	+383 (+10.1)	宮島口再開発事業等のグループ関連工事の増加を見込
セグメント利益	61	<b>37</b>	△23 (△38.9)	建築資材等の価格上昇により利益率の低下を見込

# セグメント別業績予想⑤レジャー・サービス業

(百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,901	<b>1,839</b>	△62 (△3.3)	ホテル業の客室稼働率低下を見込
セグメント利益	46	<b>33</b>	△12 (△28.3)	

---

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542